

超音波探傷試験 レベル2 訓練実施記録

NDT方法・レベル	UTレベル2
訓練を受けた者の氏名	
訓練を受けた者の署名・押印	

←訓練機関、又は、個別訓練者が印字してください。
 ←提出は、署名・押印した本書のコピーで構いません。
 原本は保管してください。提出物の返却はできません。

* 訓練内容別必要訓練時間を満足するとともにNDT方法・レベルごとの最小限の訓練時間(訓練実施記録集計表参照)を満足する必要があります。
 * 訓練機関、又は、個別訓練者に訓練実施記録を発行してもらってください。
 * 最終的に訓練実施記録を訓練実施記録集計表にまとめて提出します。

訓練内容	訓練内容題目	訓練内容別必要訓練時間		訓練実施時間		訓練実施日(西暦年月日)		訓練実施場所	訓練者	
		講義	実習	講義	実習	開始日	終了日		氏名	勤務先・所属
序論	NDTの目的、用語、歴史 超音波探傷試験に関する規格	3.00		3.60				eラーニング	前川 真一	前川NDTサポート
超音波の伝搬と音場、きざによる超音波の反射	超音波に関する基礎	9.00		13.00				eラーニング	美藤 貴之	日本非破壊検査 株式会社
	波の種類									
	反射、通過と屈折									
	超音波ビームの特性									
製品知識と探傷技術	きざによる超音波の反射	3.00		8.30				eラーニング	前川 真一	前川NDTサポート
	超音波探傷方法									
	製造プロセス及び供用中に発生する様々なきざ									
装置	対象となる適用品	9.00	3.00	9.00				eラーニング	篠田 幸二	東京理学検査 株式会社
	各種探触子とケーブル									
	探傷器									
探傷準備	接触媒質	3.00		5.50				eラーニング	牧原 善次	一般財団法人 発電設備技術検査協会
	標準試験片及び対比試験片									
	仕様書, NDT手順及びNDT指示書									
	試験体のきざの発生予測									
検査	探傷条件選定	8.00	6.00	9.00				eラーニング	牧原 善次	一般財団法人 発電設備技術検査協会
	適用される検査規格									
	探傷器の調整									
	標準試験片と対比試験片									
	直接接触法(垂直及び斜角)									
評価及び報告	水浸法(垂直)	3.00	12.00	3.50				eラーニング	牧原 善次	一般財団法人 発電設備技術検査協会
	測定範囲の調整及び感度の調整									
	きざの検出と測定									
検査の品質	きざの評価・分類	2.00		2.00				eラーニング	前川 真一	前川NDTサポート
	きざと疑似指示の区別									
	超音波指示の解釈と評価									
	技術者の資格									
	機器の検証									
講義と実習の時間配分		40.00~59.00	21.00~40.00	53.90	0.00	時間		網掛けの入力枠以外は変更しないでください		
最小限の訓練時間(講義+実習)		80.00		53.90		時間(講義+実習)				

<訓練機関> 個別訓練の場合、記入不要

<訓練証明者> 資格証明書保持者の責任において、本書の訓練が適切な訓練であることを証明します。

訓練機関名称	一般社団法人 日本非破壊検査工業会
所在地	〒101-0047 東京都千代田区内神田2-8-1 富高ビル3F
所属部課名・役職	教育部会 部会長
連絡先TEL	03-5207-5960
訓練責任者名	坂本 敏弘

訓練証明者名・押印	前川 真一	証明日(西暦年月日)	
保持資格(NDT方法・レベル・認証番号)	UTレベル3 N10145187	有効期限	2029.09.30

* 訓練証明者の証明(証明日)は、全ての訓練が終了してから(最終訓練日以降)証明を行ってください。
 * また、証明日は、保持資格の有効期間中でなければなりません。